

新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響： がん登録を基盤とした調査

1. 研究の対象

当センターで院内がん登録された患者さん（2019年1月1日診断以降）

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を、がん登録を基盤とした調査により示します。

2020年1月16日、中国湖北省武漢市より帰国した男性に初の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染がわが国で確認されました。2020年3月11日には、WHOが世界的大流行（パンデミック）を宣言し、感染者数、死者数とも増加、緊急事態宣言の発令など、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。がん医療においては、検診やかかりつけ医の受診、専門医療機関への紹介、検査、診断、治療において、遅延、中止、代替が生じたと想定され、医療提供体制の逼迫によるがん医療の制約も現実となりました。がんの進行、生存期間やQOLの悪化、がん死亡の増加が懸念されています。

今回、大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診療情報データ的一种であるDPCの情報を加えることで、COVID-19がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を示します。COVID-19のみならず、今後発生する新たな感染症に対して、がん医療提供体制のあり方を考えるうえでの科学的根拠になると期待できると考えています。

3. 研究実施期間

倫理委員会承認後～2030年3月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

院内がん登録データと診療情報データ的一种であるDPC データを匿名化・暗号化したもの

5. 外部への試料・情報の提供

研究代表施設の大阪国際がんセンターに匿名化・暗号化して提供します。

6. 研究組織

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

〒541-8567大阪府中央区大手前3-1-69、 06-6945-1181
研究責任者・代表者：がん対策センター所長宮代勲
(大阪府がん診療連携協議会がん登録・情報提供部会長)

(既存試料・情報の提供のみを行う機関)

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等
(https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/osaka_gan-portal/kyotenlist.html)

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先:

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
がん対策センター 政策情報部副部長 森島敏隆
住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3 - 1 - 69
電話：06-6945-1181

研究責任者・研究代表者:

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター
がん対策センター所長宮代勲
(大阪府がん診療連携協議会がん登録・情報提供部会長)

紹介先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室 森藤祐史・中村ちひろ
〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56 TEL06-6692-1201(内線2521)